

1 スズキ(株)と共創し、ソーラー街灯設置へ

使用済みスズキ車載のリチウムイオン電池を再利用し循環型社会へ

磐田市は、スズキ株式会社と共創し、ゼロカーボン達成への取組、自治体管理の街灯の電気代削減などの課題解消に向けて、使用済みスズキ車載のリチウムイオン電池をリユースしたスズキ開発のソーラー式街灯を市内公共施設に設置します。スズキ株式会社は、現在、本件と同様のソーラー街灯を本社をはじめとする社内拠点に設置していますが、自治体管理の街灯として設置するのは、今回が初めてです。

1 経緯

いわた首都圏コーディネーターの活動拠点である ARCH（虎ノ門ヒルズ内にあるインキュベーションセンター）のイベントにおいて磐田市がスズキ(株)から提案を受けて協議を開始しました。

2 目的

- ①脱炭素のまちづくりの貢献に向けた CO2 排出量削減効果の検証
- ②今後廃棄の増加が見込まれる使用済み車載電池のリユース活用技術普及に向けた街灯の長期使用の検証
- ③街灯の維持管理費の削減に向けた電気代削減効果の検証

3 主な特徴

- ①車載用電池を使用するため高品質（8年間電池交換不要と想定）
- ②使用済の電池パックをそのまま使用可能（交換が容易）

4 設置お披露目式

日 時：令和7年3月9日（日）11時～
場 所：アミューズ豊田敷地内
出席者：スズキ(株)代表取締役社長、磐田市長



5 費用負担

スズキ(株)、磐田市両者による折半

6 今後の予定

循環型社会の実現に向け、今回の設置による検証を踏まえて、両者で協議を進めていく予定です。